

# 奈良県の未来を創る 脱炭素ステップアップセミナー



# 研修会タイムテーブル

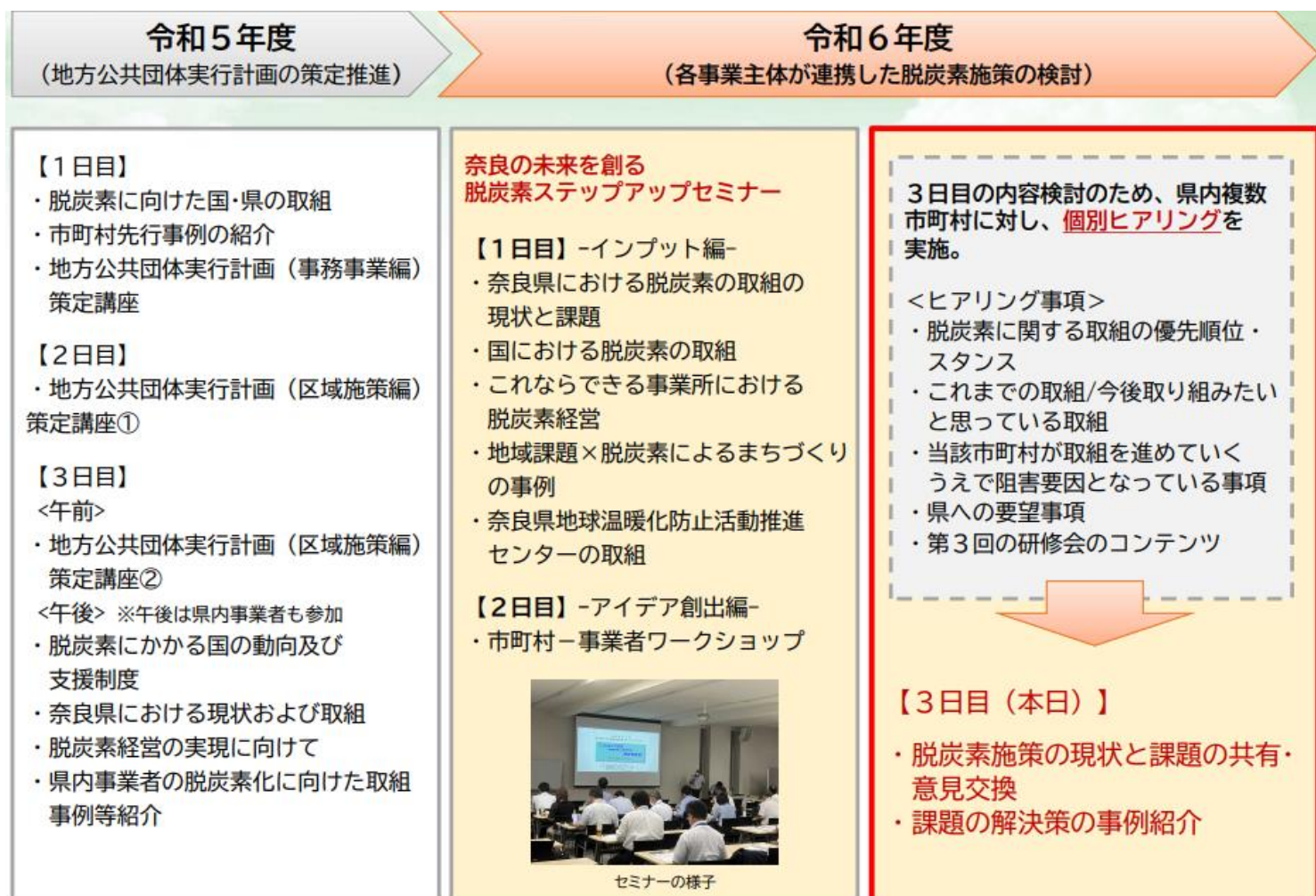
本研修会のタイムテーブルは以下の通りとなっています。

実施項目	時間(分)	ファシリ・スピーカー	内容
開催挨拶	5	奈良県様	■ 開催に当たっての挨拶
研修の趣旨説明	5	トーマツ	■ 研修の流れ・スケジュールについてのご説明
アイスブレイクセッション	10	トーマツ	■ 自己紹介・グループにおける役割分担を決める
<b>第1部（60分）脱炭素施策の現状と課題の共有</b>			
現状と課題の共有	20	トーマツ	■ 各市町村の現状と課題を共有（1市町村あたり3分程度）
グループディスカッション	30	トーマツ	■ 市町村の抱える課題を踏まえてグループで討議を実施
発表	10	トーマツ	■ 各グループからの代表がディスカッション内容を発表（各グループ3分程度）
休憩（10分）			
<b>第2部（30分）課題の解決策の事例紹介</b>			
奈良県の取組	10	奈良県様	■ 奈良県の今後の脱炭素に向けた取組を紹介
ソリューション事例紹介	20	トーマツ	■ 各市町村に共通する課題について解決策の事例を紹介（機運醸成、官民連携、啓発手法）
<b>第3部（20分）ネクストアクション宣言</b>			
個人ワーク	5	トーマツ	■ 各市町村における「ネクストアクション宣言」を記載
ネクストアクション宣言	10	トーマツ	■ 各市町村における「ネクストアクション宣言」を発表
事務連絡	5	奈良県様	事務的な連絡

# 本研修会の趣旨・目的

# 本研修の趣旨・目的

脱炭素の推進に向けては、官民の多様な主体が「オール奈良」で取り組む必要があります。このため、本研修では、県・市町村の脱炭素にかかわる部署の職員が相互に現状や課題を共有し、今後連携して取組を進めていくための関係を創ることを目的としています。



## 【参考】脱炭素ステップアップセミナーについて（ヒアリング結果（抜粋））

昨年ご協力いただいたヒアリングでは以下のような意見を頂戴しています。

市町村における課題	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 首長をはじめとする上層部や庁内の関係課の脱炭素への意識が低く、担当課の動きがとりづらい。</li><li>✓ 脱炭素に向けた取組を行うための人的・資金的なリソースが不足している。</li><li>✓ 自分たちと近い規模や課題を抱えた他団体の動向を把握したいが、接点がない。</li><li>✓ 住民等への普及啓発を通じた行動変容を促す必要があるが、効果的な手法がわからない</li></ul>
市町村からの要望事項	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ JクレジットやPPA事業など、具体的な各事業を実施する際の基礎知識を学ぶ機会が欲しい。</li><li>✓ PPAやZEBなどの各分野に特化した研修も実施していただきたい。</li><li>✓ 資金調達の方法についてノウハウ等が知りたい。</li><li>✓ 効果的な広報について学ぶ機会があればありがたい。</li><li>✓ 地域内の脱炭素に取り組む団体と協力した事業事例について知りたい。</li><li>✓ 環境学習について、他市町村の実施方法やテーマを情報収集したい。</li><li>✓ 庁内の合意形成の方法（推進体制の整備など）について知りたい。</li><li>✓ 温室効果ガスの具体的な削減施策事例について知りたい。</li><li>✓ 同じ規模感の市町村との意見交換をしたい。</li><li>✓ 国及び県の支援策について、どのような支援があるのか情報提供いただきたい。等・・・</li></ul>

# アイスブレイクセッション

# アイスブレイクセッション

## 自己紹介（10分）

お手元のA4用紙を4つ折りにし、以下の例を参考に自己紹介シートに記入いただいたうえで、順番に自己紹介をしてください。

ご自分のお名前/所属	誕生日（誕生年は不要です）
これまで経験してきた部署・業務	我が家の省エネ取組

# アイスブレイクセッション

## 役割分担の決定

各グループのリーダーを決めてください。

役割	内容	対象者
リーダー	グループのまとめ役です。 発表者を決める権限があります	誕生日が一番 <u>早い</u> 人

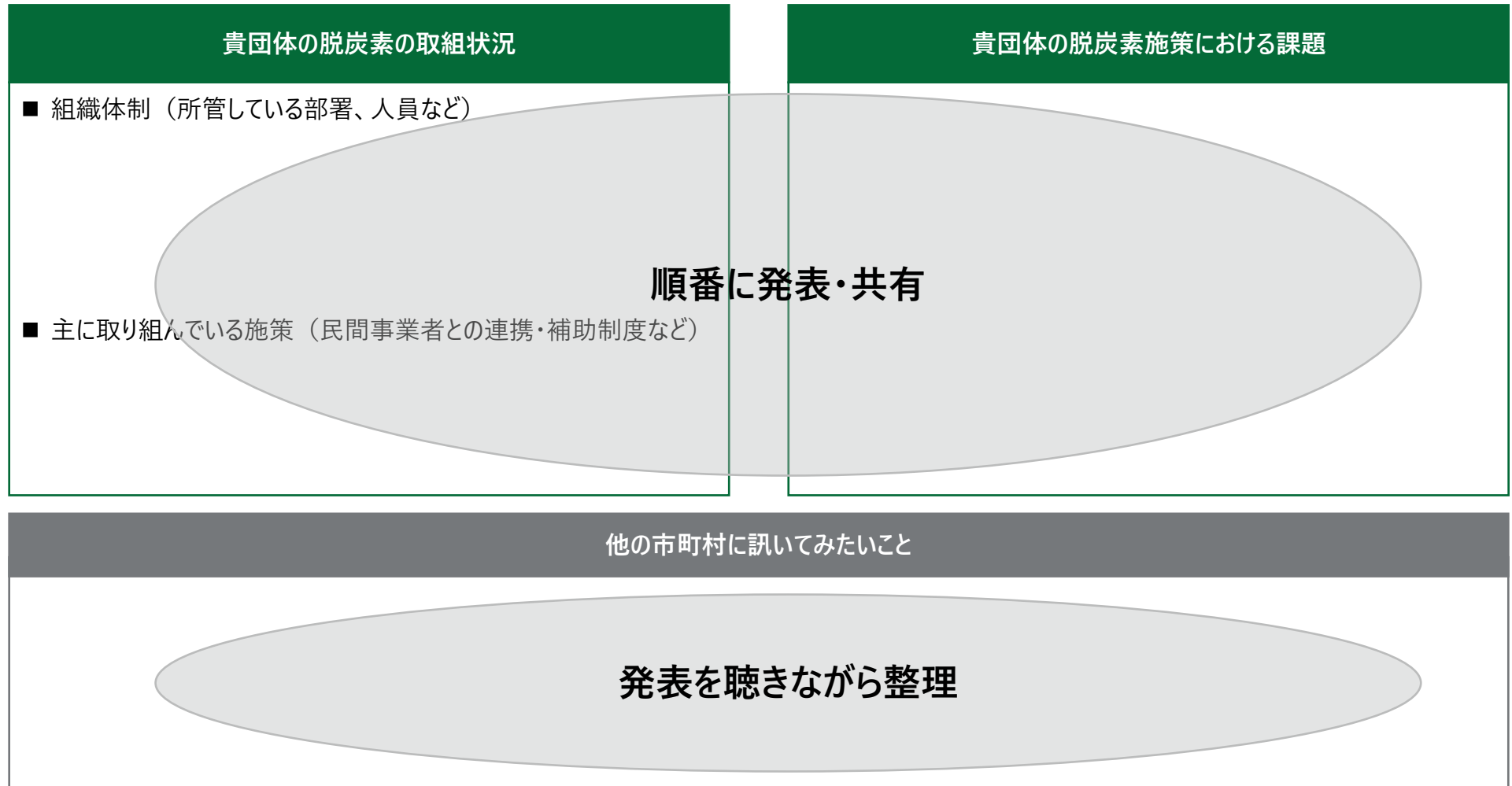


# 第1部

## 脱炭素施策の現状と課題の共有

## 現状と課題の共有

参加者で順番に、脱炭素施策の取組状況と課題について事前課題シートに基づいて共有してください。  
発表を聴きながら「訊いてみたいこと」を整理してください。



## グループディスカッション

参加者で順番に、他の市町村に訊いてみたいことを事前課題シートに基づいて共有してください。

### 貴団体の脱炭素の取組状況

- 組織体制（所管している部署、人員など）
  
- 主に取り組んでいる施策（民間事業者との連携・補助制度など）

### 貴団体の脱炭素施策における課題

### 他の市町村に訊いてみたいこと

# グループディスカッション

次の4ステップで意見交換を行います。

全体

## 質問事項の発表

- 前のセッションを踏まえて他の市町村への質問事項がありましたら挙手の上発表してください。



庁内の他部署が協力してくれない。みなさんどうしてますか？

全体

## 同じ課題を抱えた団体がいないか確認

- 同じ問題意識を抱えている市町村がいたら挙手をしてください。
- なかでもうちはこういう観点で困っている等、発表した市町村の話題に補足したり、かぶせたりするものがあれば併せて共有してください。



うちも同じ状況。特に財政課に説明してもわかってもらえない

グループ

## 解決できている団体がいないか確認（5分）

- 話題となっている質問事項や課題についてすでに取り組んでいたり、回答を持っている団体がいればどのように取り組んでいるかを挙手の上発表してください。



うちはまずは首長に働きかけて、トップダウンで協力要請をした。

全体

## 意見交換内容の発表

- グループディスカッションの中で出てきた先進的な取組や課題の解決方法についてグループごとに発表していただきます。



グループではXXXXという意見が出ました。

## 第2部

# 課題の解決策の事例紹介

## 奈良県の実施

## 課題の解決策の事例

# 本日のご紹介内容

共通課題を踏まえて解決策の事例をご紹介します。

## 奈良県内の自治体が抱える共通課題

### 庁内の機運醸成

- 首長をはじめとする上層部や庁内の関係課の脱炭素への意識が低く、担当課の動きがとりづらい。



## 本日のご紹介内容

- ✓ 新規施策について[庁内でのコンセンサスを得るための手法（機運醸成の手法）](#)をご紹介します

### リソースの確保

- 脱炭素に向けた取組を行うための人的・資金的なリソースが不足している。



- リソース不足を補うための[官民が連携した事業の手法](#)をご紹介します

### 住民等への普及啓発

- 脱炭素に向けては住民等への普及啓発を通じた行動変容を促す必要があるが、効果的な手法がわからない。



- [ナッジを活用した行動変容の促進に関する取組](#)をご紹介します



# 庁内の機運醸成

## 庁内機運の醸成とは

「ある施策について、『庁内のステークホルダー』が、『期待される行動』を（自発的に）とるように働きかけること」と定義づけることができます。

庁内機運の醸成



だれが

ある施策の担当課が

だれに

庁内のステークホルダーに

なにを

期待される行動を（自発的に）とるように働きかけること

→個人や組織の内面の問題にしないのがポイント

## 庁内機運の醸成の必要性

庁内で脱炭素施策の重要性が認識・共有されないと施策推進のためのリソースが払底するおそれがあります。



首長・幹部職員

脱炭素に取り組んで何になるのか？他に優先度の高い施策はあるのではないかな？

予算がつかない＝お金がない！

他の仕事でいっぱい。余計な仕事を増やさないでほしい



庁内の関係課の職員



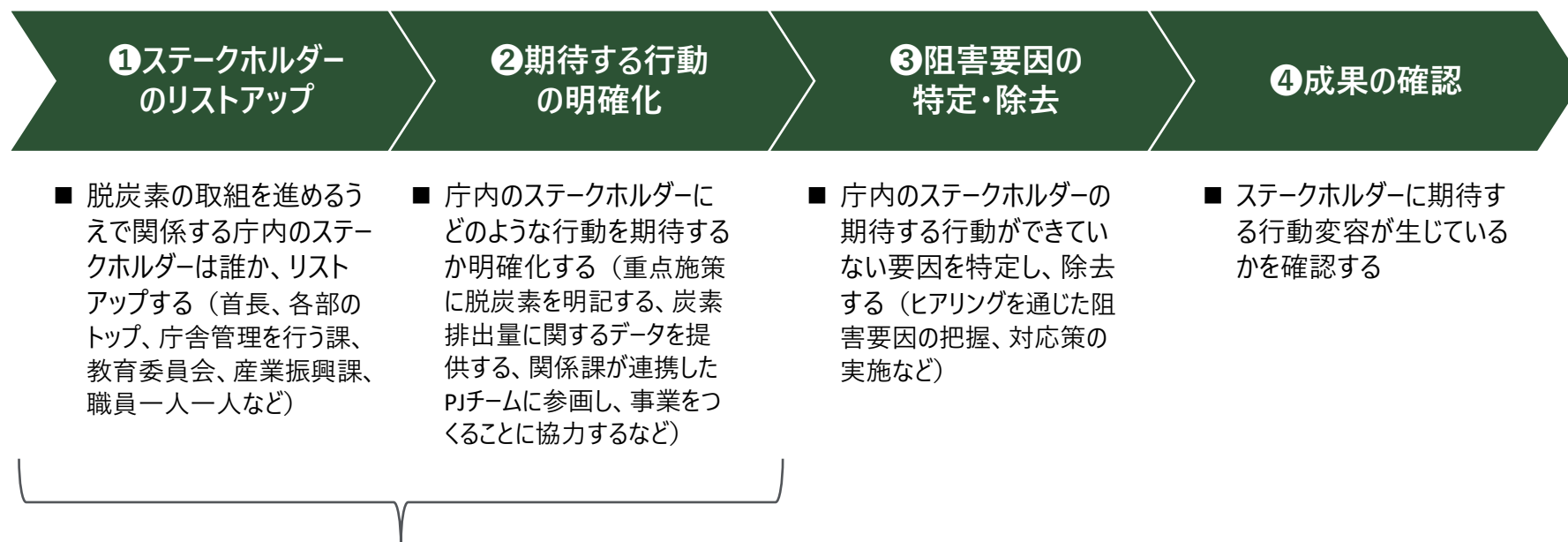
誰も協力してくれない＝人手が足りない！

→機運醸成のゴールは庁内でのリソースの確保

# 庁内機運の醸成に向けたステップ

庁内機運の醸成に向けては大きく4つのステップがあります。

まずはステークホルダーのリストアップと期待する行動の明確化から始めることが有効です。



→まずはここから取り組むことが有効

## ステークホルダーのリストアップ

ステークホルダーをリストアップするとともに期待する行動や働きかけの方針などについて一覧化することが有効です。

ステークホルダー	類型	現在の脱炭素に対する姿勢	期待する行動	関心・ニーズ	働きかけの方針
市長	A	関心はうかがえるものの、具体的な政策等に反映されていない	政策集や、記者発表等で脱炭素への前向きなメッセージを発信してほしい	観光施策や防災施策に関心がある	観光分野と脱炭素をからめた民間事業者との連携協定の締結への協力等を働きかける
産業振興課	B	脱炭素施策の動向には一定関心がある	産業分野での脱炭素の推進のため、連携した事業の創出に協力してほしい	事業を執行するための予算や人的リソース	国の交付金動向について情報交換を定期的に行う
...					
.....					

# ステークホルダーのマッピング

どのステークホルダーに優先的に働きかけるか、影響力と関心度の二軸で整理し、メリハリをつけることも有効です。

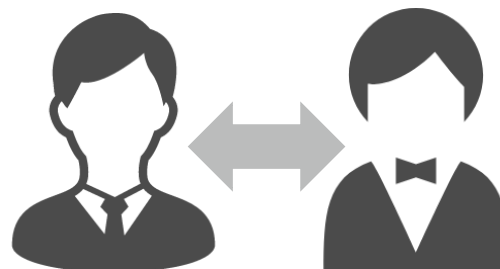


## 【参考】脱炭素の担当課と庁内の関係課の役割分担

脱炭素の担当課と他の課の役割分担についても整理することで、お互いの期待役割が明確になります。

### ● 役割分担の例

- ✓ 脱炭素計画の実行に向けて、他の課の個々の取組を伴走支援すること
- ✓ 頻出論点については統一的な考え方を整理すること
- ✓ 個々の取組のインパクトを全庁的な観点で評価すること



脱炭素担当課

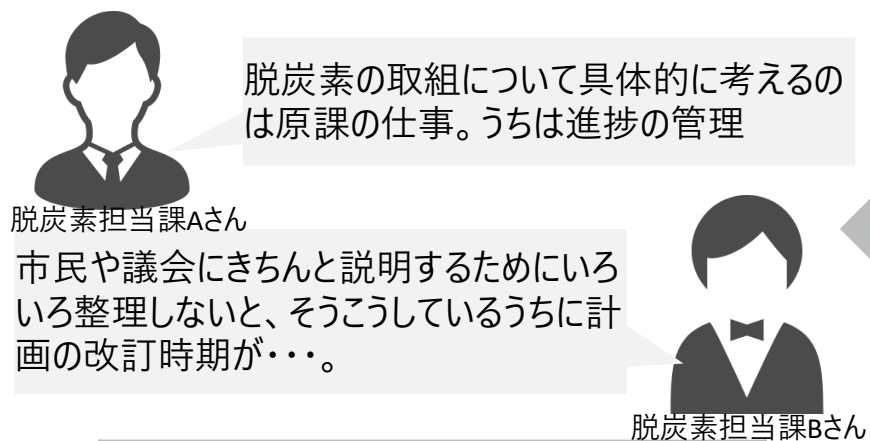
庁内の関係課

- ✓ 脱炭素の推進に向けた基本的な考え方を理解し、脱炭素担当課の協力を仰ぐ
- ✓ 脱炭素に向けた取組を実行し、具体的な成果を出す

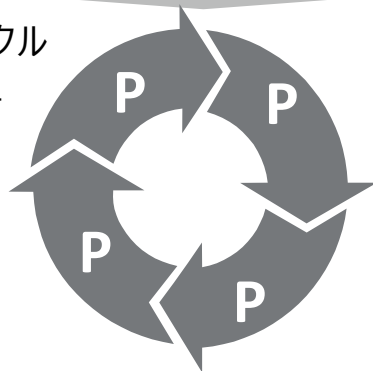
## 【参考】脱炭素の担当課と庁内の関係課の役割分担

役割分担がうまくかみ合わない、計画と実態の乖離、全体最適の視点が不在の施策展開など様々な弊害が想定されます。

### PPPPサイクルの発生

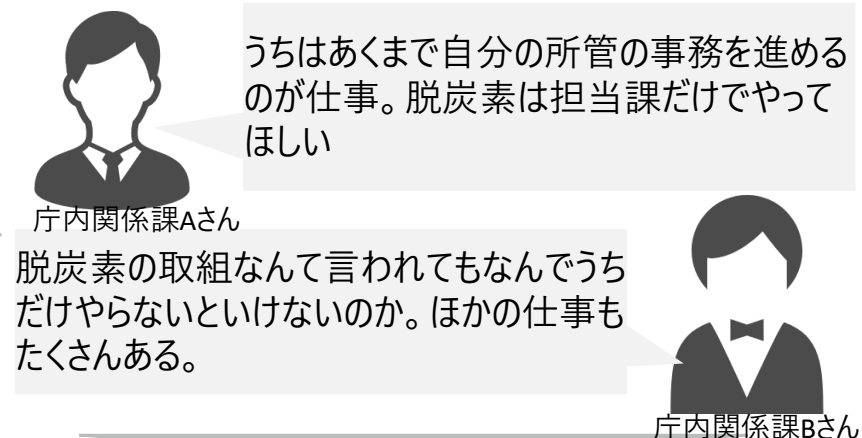


PPPPサイクル  
の発生

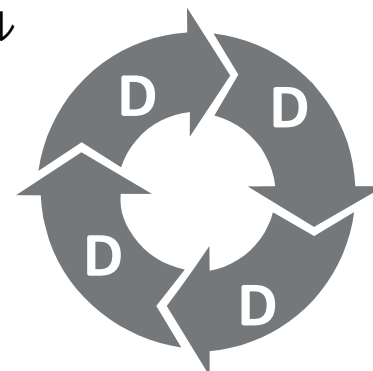


延々と実行されない計画を作り続けることに。。。

### DDDDサイクルの発生



DDDDサイクル  
の発生



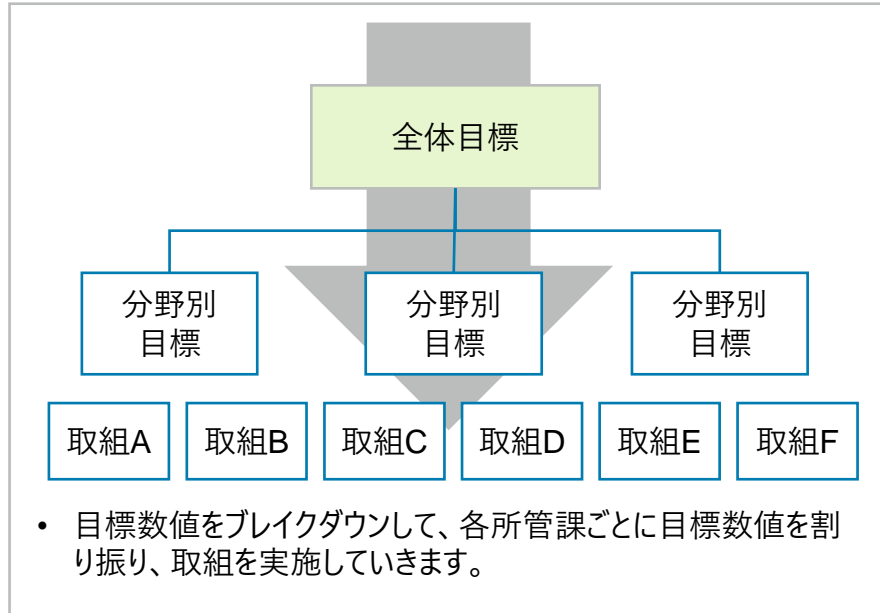
いきあたりばったりの施策展開



## 【参考】取組のアプローチ例

P（Plan）から取り組む方法と具体的なD（Do）から取り組む方法の2種類が想定されます

### 目標数値先行型（トップダウンアプローチ）



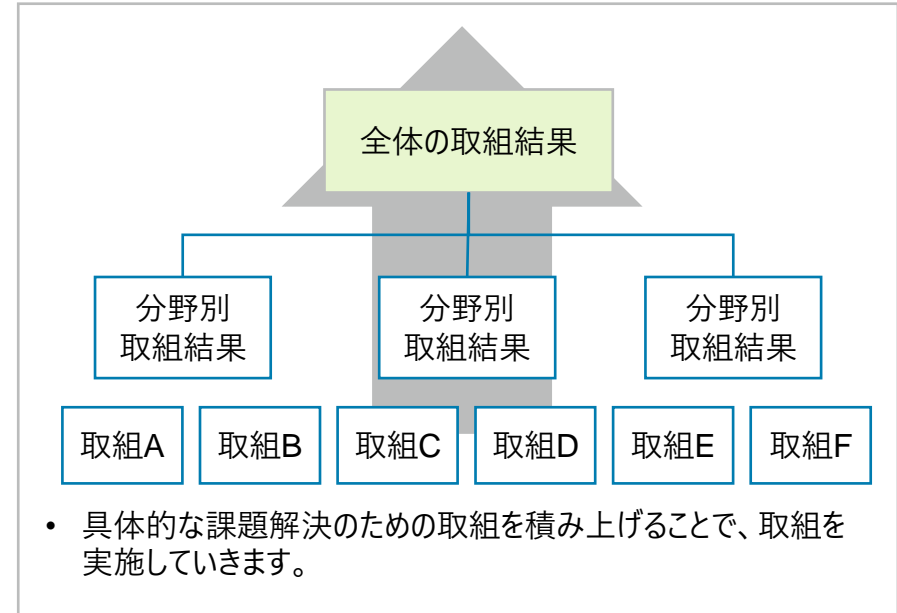
#### メリット

- ✓ 対外的に目指す方向性がわかりやすい。
- ✓ 進捗管理がしやすい。

#### デメリット

- ✓ 目標数値の合意形成が困難で実際の着手までに時間がかかる。

### 課題解決先行型（ボトムアップアプローチ）



#### メリット

- ✓ 具体的な取組が基点となるため、着手がしやすい。
- ✓ 実績が早く積みあがるため、取組ノウハウの展開がしやすい。

#### デメリット

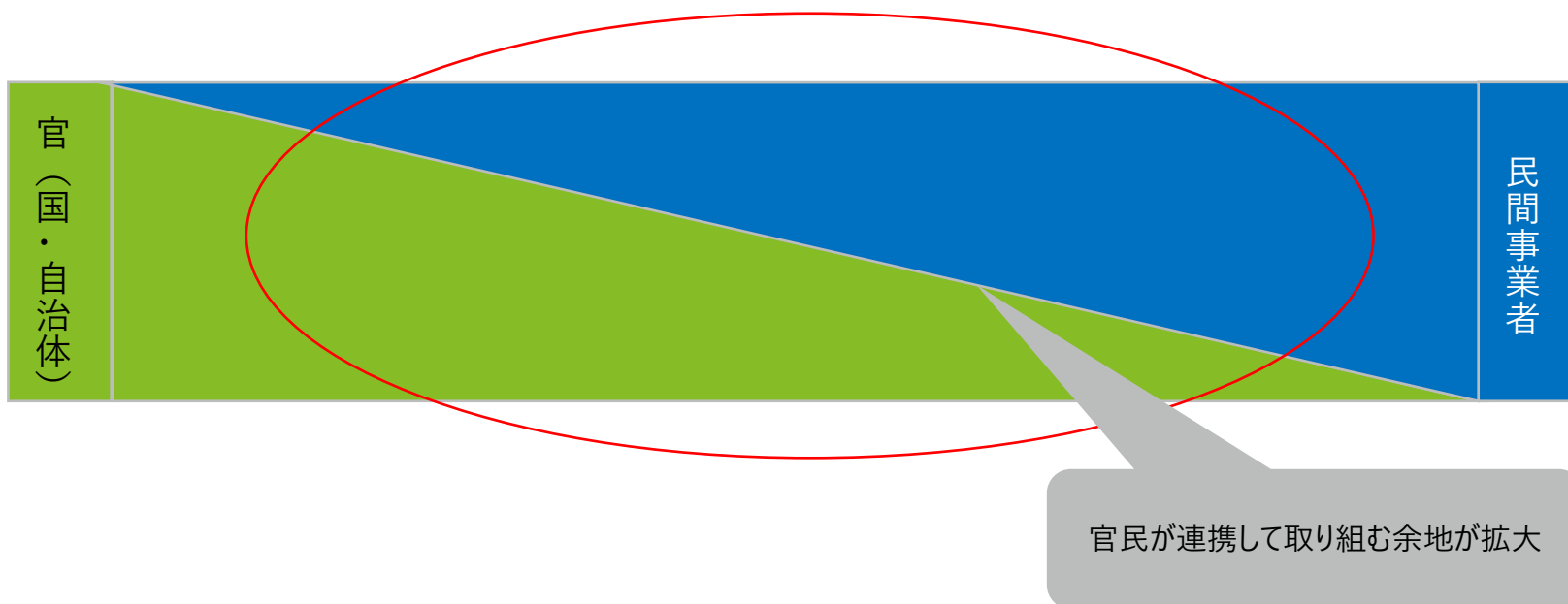
- ✓ 大掛かりな取組を行うのは困難。
- ✓ 取組を積み上げた結果が目指すべき目標に到達しない可能性がある。

# 官民連携

## 官民連携が求められる背景

これまで地方公共団体が単独で提供していたサービスについて民間事業者の参入余地が生まれています。

- ✓ 地域課題の複雑化・増加、財政の逼迫、職員不足等により地方公共団体が単独で従来のサービスを提供できる領域は縮小していく可能性
- ✓ 一方、民間事業者がデジタル技術等のテクノロジーを活用することで、これまで企業が収益を上げることが難しかった領域や、地方公共団体が単独で取り組むことが困難な領域をビジネスとして成立させつつ取り組める可能性がある。
- ✓ また、地方公共団体が民間事業者と対等な関係で新たなサービス・ビジネスモデルの構築を図る官民連携プロジェクトを創出することで、持続性・継続性を高めることができる可能性がある。



出所：経済産業省「地域の持続的な発展に向けた連携体制構築のポイント」（令和3年）を基に作成

# 官民連携が求められる背景

各々のリソースを掛け合わせることで新たな価値を生み出せる可能性が高まっています。



出所：経済産業省「地域の持続的な発展に向けた連携体制構築のポイント」（令和3年）を基に作成

# 官民連携に期待される効果

サービスの維持、質の確保、価値の向上、コスト縮減効果などが期待されています。

## (1) サービスの維持

・社会の変化、多様なニーズに適合したサービスを行政に代わって民間事業者を実施させる



## (3) サービスのバリューアップ

・民間事業者によるマーケティング・オペレーティングの両面で付加価値を増大させる（施設の稼働率の向上、収入、地域の活性化）

＊ハード、ソフト両面に亘る

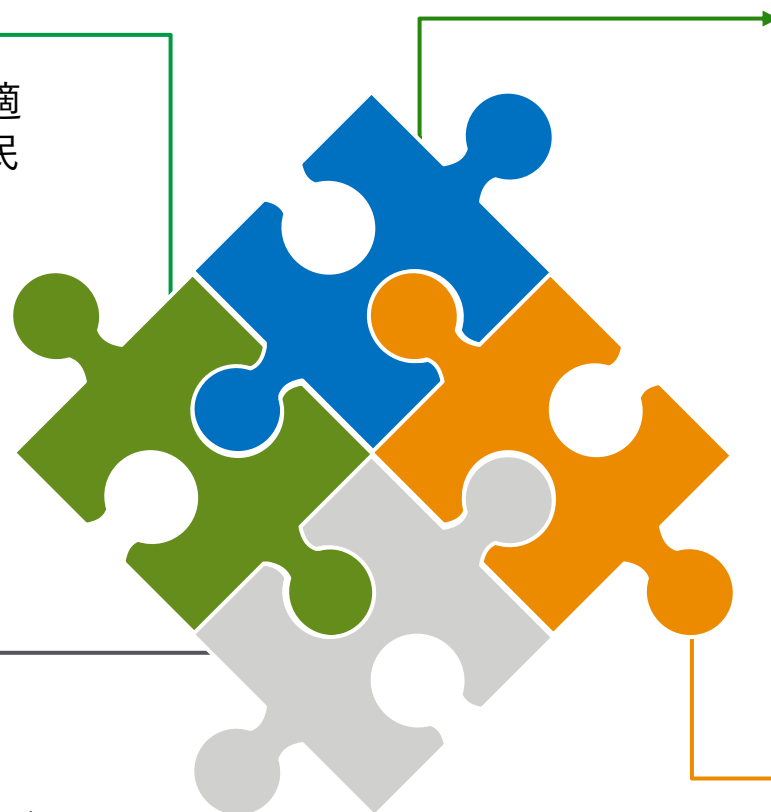
## (2) サービスのクオリティアップ

・民間事業者によるマーケティング・オペレーティングの両面でサービスの質を向上させる



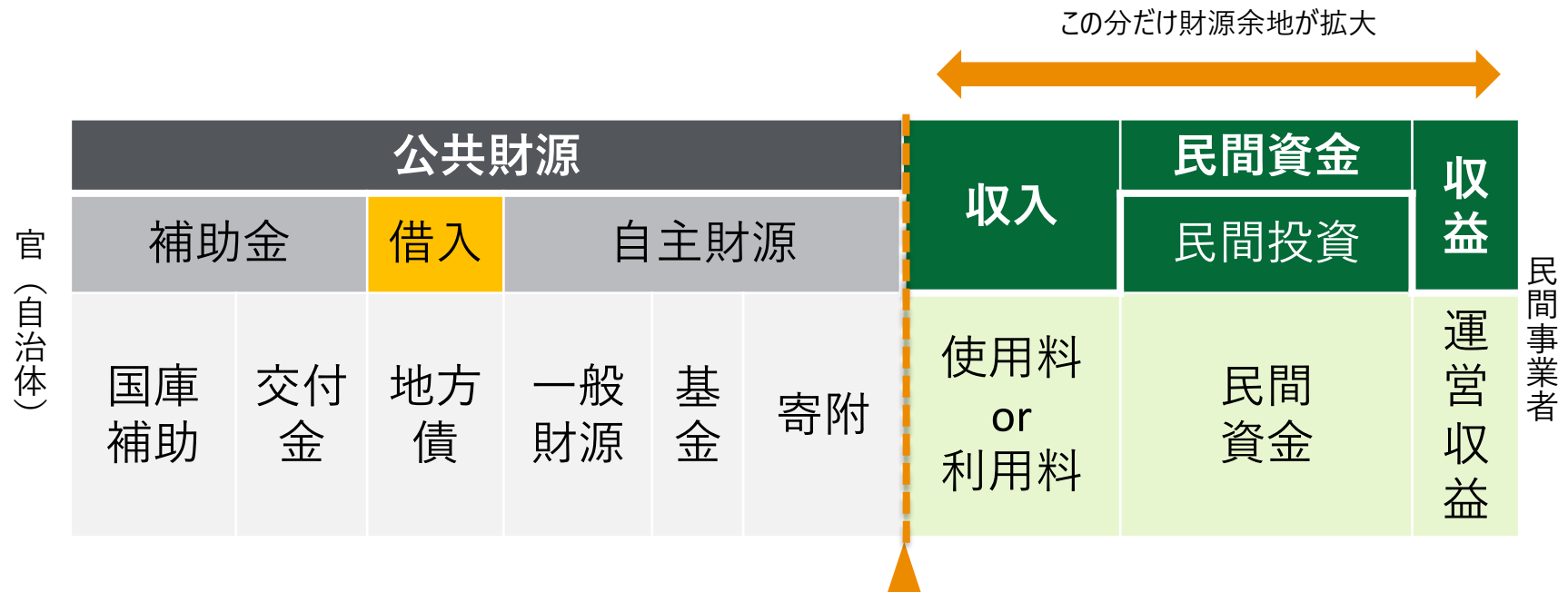
## (4) コストカット

・民間事業者のハード・ソフト両面での提案により、コスト縮減も可能になる



# 財源調達

官民連携は特に資金調達の面で自治体に自由度をもたらす可能性があります。



# 脱炭素における官民連携

官民連携については公共施設の整備や維持管理の分野でPPAの導入が良く知られていますが、脱炭素に限らず幅広くアイデアを募るために、民間提案制度を導入する自治体も見られます。

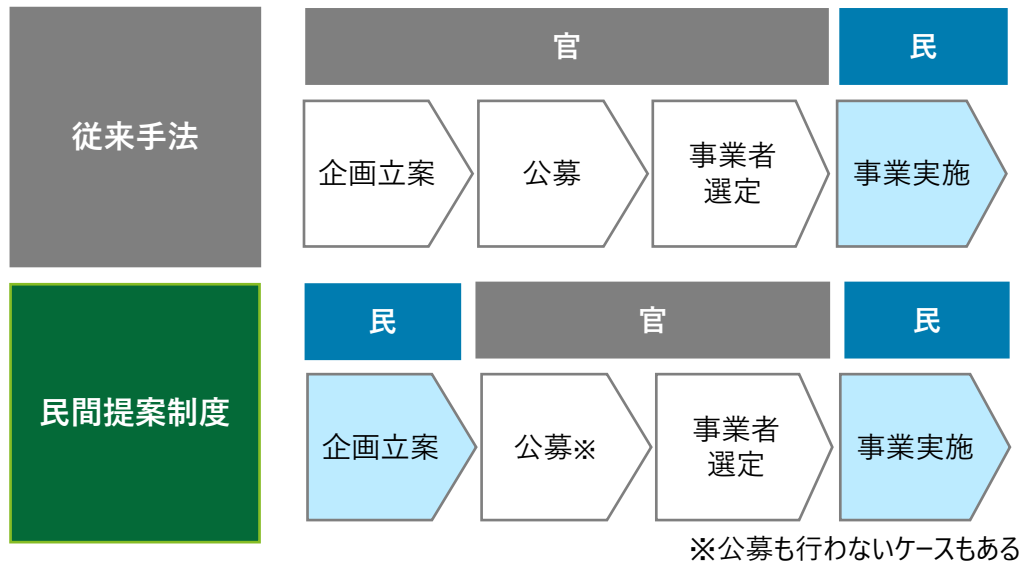
手法の種類		概要
行政主導	指定管理者制度	公の施設の維持管理・運営などを管理者に指定した民間事業者を実施させる手法。
	包括民間委託	民間事業者に維持管理などを複数年契約・性能発注などにより一括発注・性能発注する委託手法
	PFI手法（コンセッション含む）	民間事業者がPFI事業の契約に基づいて、公共施設などの設計・建設・維持管理・運営などを運営権移管・一括発注・性能発注・長期契約などにより行う手法。
	PPA	発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組み
	成果連動型委託	委託事業者に対して、その成果に応じて支払報酬を増減させることで、民間の創意工夫を促す手法
	公的不動産利活用事業	公有地等を有償/無償で民間事業者に貸与等し、民間事業者がそれらを活用して事業運営やサービス提供を行うもの
民間主導	シビックテック	社会課題について在野のIT技術者等がオープンな形でアプリ等の開発を通じて解決を図る手法。
	民間提案制度	公共的事業について、民側からの提案を受け付け、参入させることで、効率的・効果的なサービス提供を図る手法

# 民間提案制度の概要

より民間の創意工夫が発揮される手法として、「民間提案制度」が注目されています。

## 民間提案制度とは

- 民間事業者等が参入可能な公共的事業について、民間事業者等からの提案を受け付け、参入させることで、より効率的・効果的な公共サービスの提供を図る民間主導の官民連携手法
- 企画段階から民側のアイデアが反映されることで、より民間事業者の創意工夫を発揮することができることが期待される



- 従来手法では、官側から事業を発案、公募から事業者選定を行うため、民側の創意工夫が発揮される余地があまり大きくなかった
- 民間提案制度では、企画立案の段階から民間事業者が提案することで、より民側の創意工夫が発揮されやすくなっている

民側の関与する余地が増えている



# 民間提案制度により実現した脱炭素の取組事例

千葉県木更津市では民間提案制度を活用し、地域外企業と連携した照明のLED化の事業を実現しています。

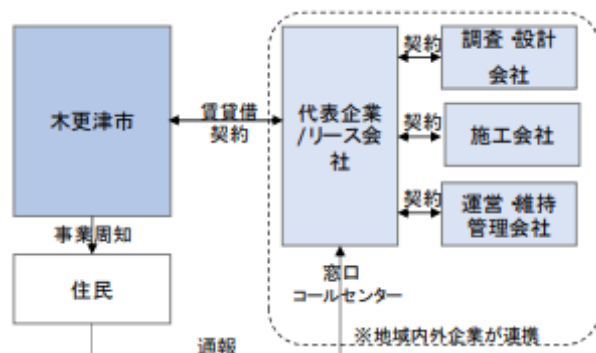
## 事業概要

### ■ 事業内容・背景

- 木更津市では、令和2年3月に策定した、きさらづストップ温暖化プラン地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、公共施設等の省エネルギー化に係る検討を進めていた。
- その一環として、民間提案制度の活用により事業提案を募り、道路灯、公園灯等のLED化によるCO2排出量の削減と中長期的な維持管理を行う事業の形成に至った。

### ■ 事業スキーム

- 市は事業者と照明灯の賃貸借契約を締結。事業期間後は無償譲渡される。
- 施工や維持管理業務は、市内電気工事会社が協力して行う。
- 維持管理業務では、事業者が住民等からの問い合わせ窓口を設置。地元企業と連携して迅速な対応を図る



## 事業実施のポイント

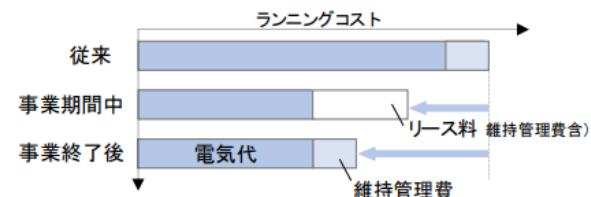
- 事業の組成にあたっては、「木更津市の脱炭素社会構築に向けた推進事業に関する民間提案制度」を創設。
- 民間事業者のノウハウと自由な発想により、市有財産を有効活用して省エネルギー化等を実現するためのアイデアを広く募ることとしつつ、テーマを「新たな費用を発生させない市有財産を活用した低炭素化事業」とし、募集要項で下記の条件を提示

### 【募集要項で提示している条件】

- ①木更津市地球温暖化対策実行計画の推進に寄与する事業であること
- ②本市にとって、新たな費用負担が発生しないこと
- ③本市内から排出される温室効果ガスの削減が確実に図られること
- ④法令により、市がすべき事業とされていないこと

## 効果・メリット

- 計画時点で、年間488tのCO2排出量の削減。電気使用料金は、前年度の約2,900万円から、69.76%減となる見込み。
- 市は、LED化により削減される電気代の一部を事業費として事業者を支払うため、財政負担を伴わず、老朽化対策への対応が可能となっている。



出所：国土交通省「官民連携（PPP/PFI）のススメ～GX ノウハウ集・事例集～」（2023年）を基に作成

# 民間提案制度の導入に当たっての論点

一般的に、民間提案制度の導入に当たっては、庁内での役割分担など以下に挙げる事項を明確化する必要があります。

## ⑥ インセンティブの設計

提案の質・量を増やしていくために、インセンティブの必要性の有無や、内容について検討する必要がある

## ① 対象事業の明確化

自治体側が望むような提案を募集するため、対象とする事業を明確化する必要がある

## ② 提案受理要件の明確化

単なる要望や、受理側の権限・責任の範疇を越えた要望をはじくため、提案受理要件を明確化する必要がある



## ⑤ 事業化までのプロセスの明確化

提案内容を実際に実現することができるよう、受付から事業化までのプロセスを明確化する必要がある

## ④ 受付窓口の明確化

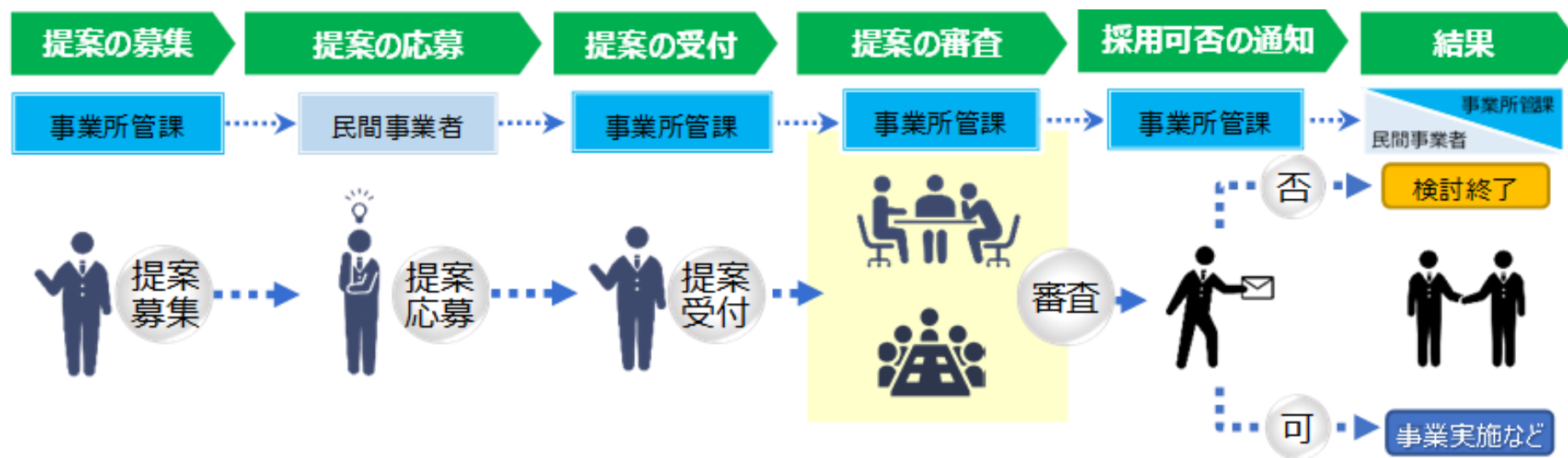
提案者が迷わなくて済むよう提案の受付窓口について明確化する必要がある

## ③ 提案事項・評価基準の明確化

提案者との効率的なコミュニケーションを図るとともに、審査の透明性・公平性を確保するため、提案事項や評価基準を明確化する必要がある

## 民間提案制度のフロー例

提案の募集から審査、結果通知まで以下のようなフローで行われているケースが多く見られます。



# 民間提案制度の導入に当たっての論点

提案の質を担保するために、一定内容に一定の熟度を設けているほか、自治体として推進していくうえで整理が求められる事項を評価基準としているケースが多くなっています。

## 提案事項例

項目例	具体的な内容例
提案理由	✓ 提案の目的、背景 ✓ 提案により解決される課題 ✓ 提案の公共性
事業内容	✓ 事業のスキーム ✓ （公共施設を対象とする場合）対象施設の種類、実施場所、敷地面積、設置条件、実施する業務の内容
事業規模	✓ 概算事業費 ✓ 公的負担の有無 ✓ 事業全体の収支計画
事業期間	✓ 事業全体のスケジュール ✓ （公共施設を対象とする場合）建設期間、運営期間
ノウハウ・創意工夫	✓ 事業において事業者が持つノウハウや創意工夫の内容 ✓ 知的財産や営業秘密の状況
リスク分担	✓ 事業者と自治体のリスク分担の考え方

## 提案評価基準例

基準例	具体的な内容例
必要性	✓ 提案内容は民間事業者が担う必要があるか（自治体側が実施したほうが効果的・効率的でないか）
政策との整合性	✓ 自治体の総合計画等の各種計画に定める政策の方向性と合致しているか
公益性	✓ 市民サービスの向上や歳入の増加・歳出の削減など、何らかの公益の増進に資する提案か
実現可能性	✓ 提案内容は実現可能なものか ✓ 提案者は提案の実施主体になることができるか ✓ 収支計画は適切か
独自性	✓ 事業者の独自性を発揮し、効果が期待できるアイデアや工夫等が盛り込まれているか。

# 脱炭素施策に係る民間提案制度の導入例

脱炭素にテーマを絞った民間提案制度を導入している自治体もあります。

民間提案導入自治体	提案事業例
千葉県木更津市 （脱炭素社会構築に向けた推進事業に関する民間提案制度）	<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設LED化等によるESCO事業（公共施設の照明をLED化し、二酸化炭素排出量を削減）</li><li>市内街路照明灯一斉LED化による脱炭素社会構築と安心安全なまちづくりの実現（道路照明灯などをLED化し、二酸化炭素排出量を削減）</li><li>再エネ電力による脱炭素社会構築促進事業（避難所に太陽光発電設備などを設置し、二酸化炭素排出量の削減と災害時の自立稼動を実現）</li></ul>
宮崎県三股町 （脱炭素化推進事業に関する民間提案制度）	<ul style="list-style-type: none"><li>公共施設への「再エネ」「蓄エネ」導入、運用改善による「省エネ」の推進のほか、次代を担う子ども達への環境教育等、啓発活動の実施</li></ul>
京都府亀岡市 （「経済循環型ゼロカーボン亀岡」の達成に向けた民間提案）	<ul style="list-style-type: none"><li>下水や生ごみなど未利用な地域資源の活用</li><li>EV充電インフラの拡充</li></ul>

## 普及啓発（ナッジ）

# 「ナッジ」とは？

人間の性質に配慮して、より良い選択を促すことを意味する。補助金などの伝統的な政策手段と組み合わせて、より少ない財政コストで住民の行動変容を促すことが期待できる。

## ナッジとは

- もともとの意味は「肘で小突く」「そっと後押しすること」。
- 人間の性質に配慮して、より良い選択を促すことを意味する。

### 伝統的な政策手段

補助金  
税制  
規制・ルール など



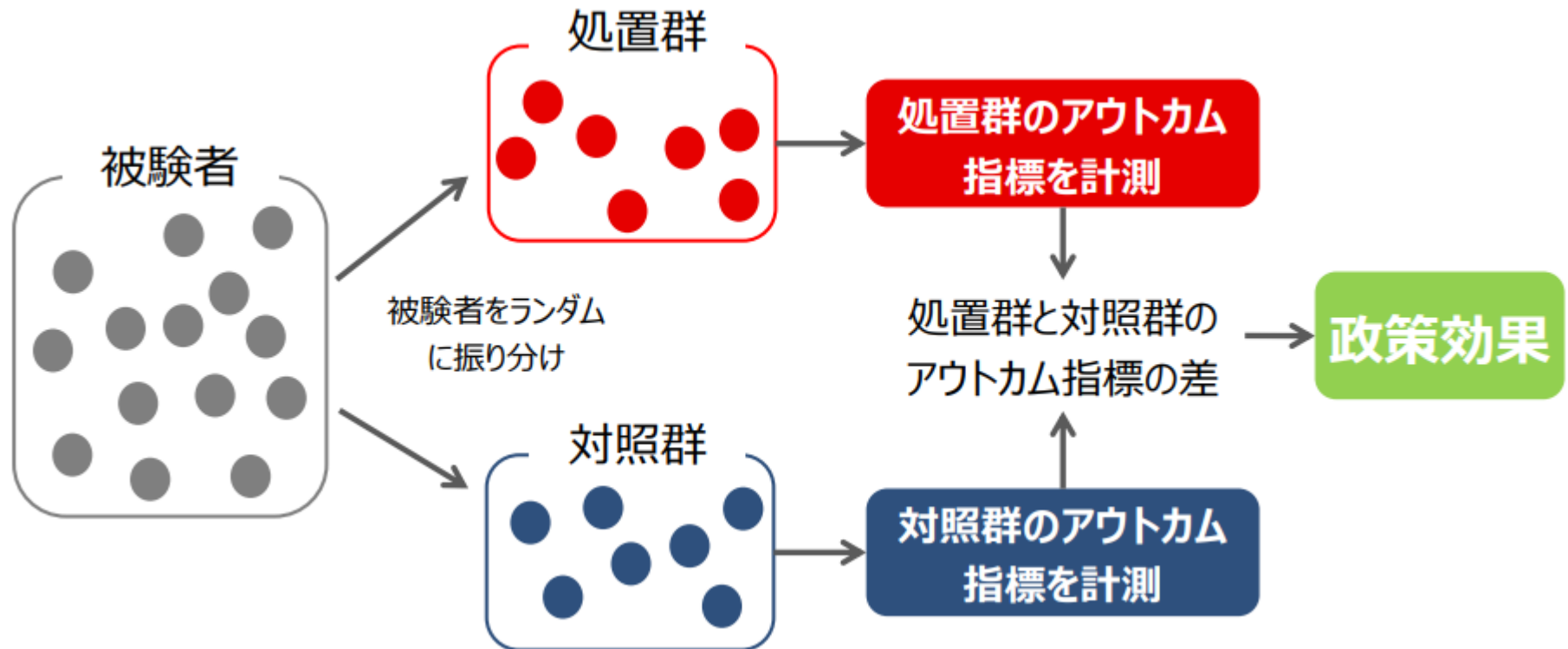
### ナッジ手法

チラシ・WEBサイトをはじめとした  
啓発活動 など

- ✓ 個人の意思決定の自由を尊重しながら
- ✓ 少ない財政コストで
- ✓ 社会的により良い選択を促すことができる

## 啓発事業への応用可能性

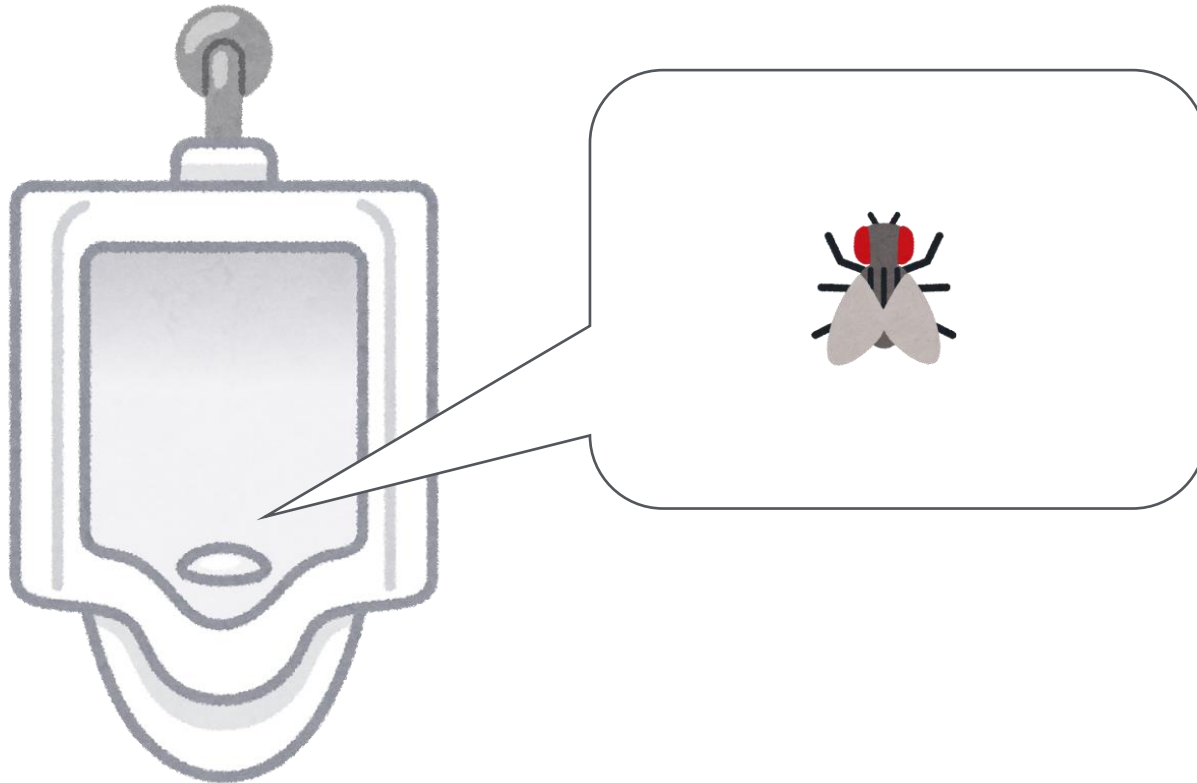
これまで成果測定が難しいと言われていた啓発事業について、エビデンスに基づいた取組の実現が期待されます。





## 身近な事例

アムステルダムスキポール空港では、小便器の内側に一匹のハエを描くだけで清掃費を80％削減させたと言われています。



# 脱炭素策における実践事例①

脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、デマンドバス利用の促進に向けた広告事業を行い、利用者数の増加につながっています。

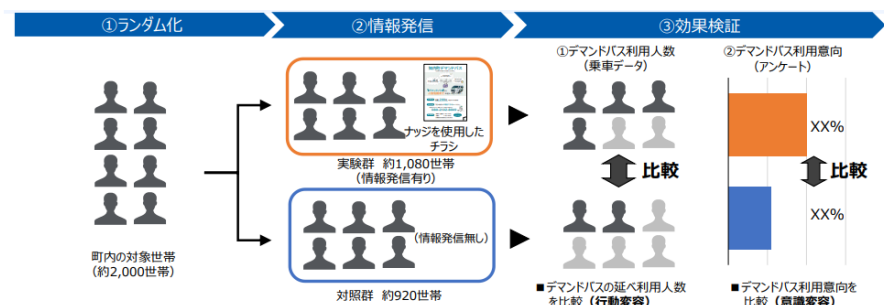
## 事業概要

### ■ 目的

- 自家用車の移動に代えてデマンドバスの利用を促進するために、ナッジ等を活用した情報発信を道内市町村で発信し、効果を検証する。

### ■ 実証方法等

- ① 町内の世帯を町内会ごとに実験群と対照群にランダムに分類
- ② ナッジを活用して作成したチラシを広報誌に折り込み、実験群の世帯にのみ配布
- ③ チラシ配布後のデマンドバス乗車人数とアンケートで取得する利用意向を比較し効果を検証



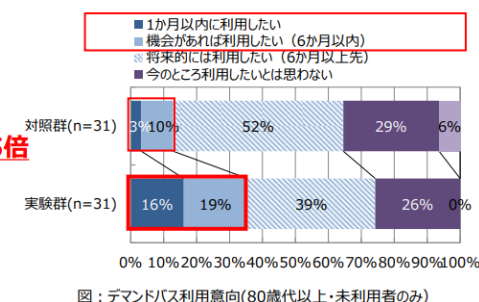
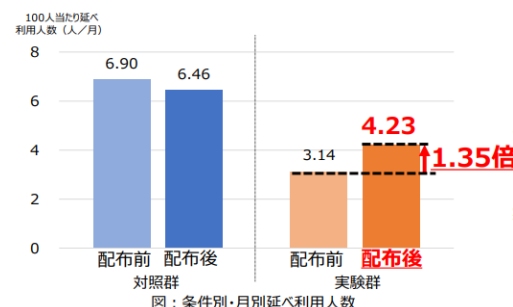
## 結果

### ■ デマンドバス乗車人数の効果検証結果

- チラシを受け取った地域では、デマンドバスの延べ利用人数が1.35倍増加した。

### ■ デマンドバス乗車意向の検証結果

- チラシを受け取った地域では、デマンドバスの主な利用者である80歳代以上の方のデマンドバスの利用意向が高かった。
- ターゲット（高齢者）に適した情報発信手法により、デマンドバスの利用に対する意識変容を促し、利用増加につながったと考えられる。



## 脱炭素策における実践事例②

南三陸町では、住民に対して分別への感謝を伝えることで、生ごみの量を減らしたり、分別の品質が向上したりする成果が得られています。

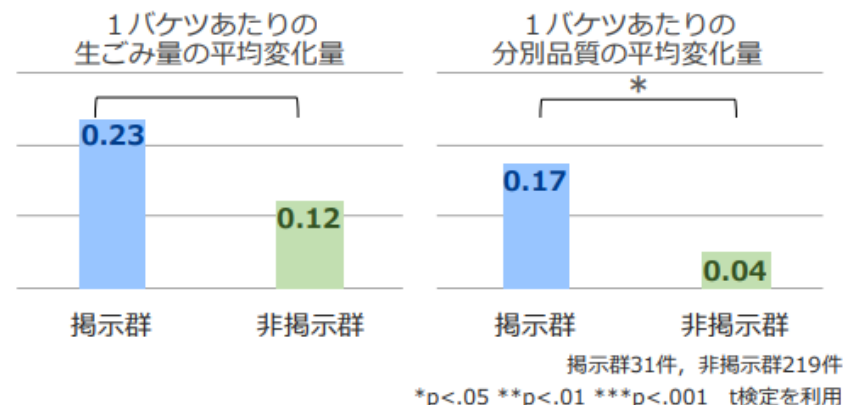
### 事業概要

- 課題に対して、返報性の原理に着目したうえで感謝の返報性をモデル化(下図)。
- 南三陸町から住民に対して生ごみを出す行為に対して感謝を伝えることにより、住民の返礼意識を促し、課題を解決できる可能性があると仮説を立てた
- 仮説を検証するために、南三陸町のゴミ集積場261か所のうち、ランダムに抽出した42か所のゴミ集積場に感謝状を設置しデータを収集した。



### 結果

- 住民の資源循環に対する意識をポジティブに変容できる可能性があることを確認
- 感謝状掲示群と非掲示群の感謝状掲示前後の平均生ごみ量と平均分別品質を算出し、変化量を求め、t検定にて群間比較を行った。
- その結果、分別品質は有意に向上し、回収量について増加する傾向が確認された。

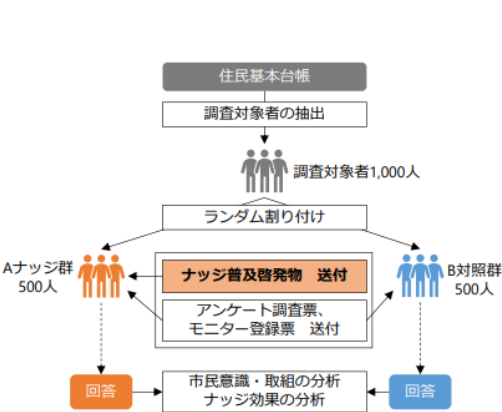


# 脱炭素策における実践事例③

恵庭市では、啓発チラシにナッジ手法を活用することで、活用しない場合よりも啓発効果が高いことを調査しています。

## 事業概要

- 市民を対象とした脱炭素啓発のため、アクションプランから普及啓発の対象とする行動を選定し、ナッジ手法を活用した普及啓発物を作成
- 普及啓発の効果を検証するため、調査・普及啓発は強い証拠が得られるランダム化比較試験を採用し A ナッジ群：ナッジ普及啓発物を同封した者 500 人、B 対照群：同封しなかった者 500 人と無作為に割り付けて行った。



地球にいいこと、恵庭市にうれしいこと。  
省エネ&ストップ温暖化！  
市民の皆様と恵庭市が丸となって温室効果ガス削減に向けて「できること」に取り組んでいきましょう！

アクションレベル  
ACTION LEVEL

アクションレベル	1. 家の照明を LED に	2. すべての照明を LED に	3. LED照明、省エネ照明に交換する
暖房の室温	温度を22℃に	温度を20℃に	温度を18℃に
エコドライブ	ふんわりアクセル	加速、減速を少なく	アイドリングストップ
エネルギー	省エネ家電の購入	省エネ家電を使う	自宅の屋根に太陽光パネル

あなたはどのレベルにチャレンジする？

恵庭市 生活環境部 ゼロカーボン推進室 脱炭素推進課  
TEL 0123-33-3131(内線1141、1143)  
data@nagasaki-city.eneb.hokkaido.jp

## 結果

- ナッジ要素を含んだことにより、「実施意欲（すぐ実施したい、いつか実施したい）」が B 対象群と比べ A ナッジ群のほうが高い水準にあり、一定の効果がみられた。
- 効果のあったナッジ要素の中で共通していたのはいずれも「利得」を活用したものであった

表 4.1-6 年齢別の実施意欲 A・B 群比較（参考値）

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	その他	全体
家庭でのウォームビズ、クールビズ	6%	21%	-8%	38%	-2%	-	10%
ファンヒーター（石油、ガス）は必要なときだけ点ける	-17%	1%	5%	44%	13%	-	6%
冷蔵庫に物を詰め込みすぎない	6%	19%	-30%	-5%	-14%	-	-1%
冷蔵庫を壁から離して設置する	18%	9%	5%	30%	-7%	-	15%
テレビ画面の輝度を明るすぎないよう調整する	6%	18%	8%	-13%	13%	-	8%
LED等のエネルギー効率の高い照明器具を使う	0%	9%	0%	-4%	-10%	-	-1%
温水洗浄便座の温水温度を高すぎないよう調整する	13%	16%	17%	-8%	0%	-	13%
暖房便座の便座温度を低めにする	-18%	11%	-18%	15%	0%	-	1%
自宅で使う電力を再生エネルギーにする	7%	-1%	14%	2%	11%	-	8%
エコドライブを実施する	7%	5%	13%	30%	-10%	-	9%
【参考】アクション10件の平均	3%	11%	1%	13%	-1%	-	7%

注 黄色で示した正のデータバーは A ナッジ群の実施意欲が B 対照群よりも高いことを表している。水色は A ナッジ群の実施意欲が B 対照群よりも低いことを表している。

# 第3部

## ネクストアクション宣言

## ネクストアクション宣言

今日の研修等を踏まえて脱炭素に向けて来年度取り組んでいきたい内容について、お配りしたシートに記入してください。

### ネクストアクション宣言

例)

- 地域脱炭素計画の策定に向けて県のアドバイザー派遣を依頼する
- 関係課との認識共有に向けて、まずは勉強会を開催する
- 機運醸成に向けてステークホルダーリストを作成する
- （現在課内で検討している）xxxxxという事業に取り組む

市町村名

---

## ネクストアクション宣言

最後は全員の宣言をテーブルの上に並べて、ぜひ撮影するなどして記録してください。  
お互いがこの宣言の証人です。

市町村名 \_\_\_\_\_

ネクストアクション宣言	
市町村名	

ネクストアクション宣言	
市町村名 _____	

市町村名

市町村名

市町村名 \_\_\_\_\_